



## 寄木地区で 200年以上続く伝統行事

1月15日(木)、歌津の寄木地区において200年以上続いているといわれる伝統行事「ささよ」が行われました。「ささよ」は、毎年小正月(1月15日)に、大漁を祈願して行われるもので、今年は、寄木地区の小学4年生から中学3年生までの男子6人が参加しました。この日は、全国的に今シーズン最低気温を記録するなど、とても寒い日でしたが、漁港に停泊してある約40艘の漁船から大漁旗をおろし、各家の庭先に配り終えると、専用のハッピー姿に着込み各家の門口近くで列を正して庭に入り「おめでたいヤナー、ササヨ、ヨイトコラ、ヨイトナー、ヘンヤーヤー」などと唄い込み、大漁旗を戸口の側に立て掛けました。毎戸45戸を全て回り終えると、大将(年長の子ども)は、もらったご祝儀やお菓子などを、参加した子どもたちに分配して行事を終えました。



新鮮な魚は、その場でさばかれて販売されました。

## DC期間最後のイベントに 4万5千人

12月29日(月)、志津川魚市場を会場に、毎年恒例となった「南三陸志津川湾おすばで祭り」が行われました。DC期間最後のイベントという事もあり、大勢の買い物客が訪れ、新鮮な魚介類や冬野菜をはじめ、年越しや正月準備に欠かせない品々を買い求めました。また、当日JR仙台駅発着の「カキDC号おすばで買物ツアー」には、400人を超える応募があり、抽選で選ばれた100人の「ラッキー」なお客さんが、お座敷列車に乗って来町し、買い物袋や大きな箱いっぱいにお土産を入れて帰りました。

## 元気いっぱい！親子なわとび大会

1月17日(土)、名足小学校体育館で全校児童と父兄による「新春親子なわとび大会」が行われました。この日は、1校時目に授業参観が行われた後、午前9時45分から体育館でなわとび大会が行われ、地区別対抗の長なわとびでは、参加した10チームの中から「中山地区」が優勝し、見事2連覇を達成しました。元気いっぱいの子どもたち。一緒に跳んだお父さんやお母さんたちは、ヘトヘトに疲れた様子でした。



元気にジャンプ!

## 無火災・無災害・無事故で 安心して暮らせる 1年になりますように

1月4日(日)荒島パークにおいて、「平成21年消防団・交通指導隊出初式」が行われました。消防ポンプ車両などによる市街地パレードや一斉放水が、志津川地区と歌津地区でそれぞれ行われたほか、消防署員による「はしご乗り」では、乗り手と下を支える組み手の見事な演技に、集まった大勢の見物客から拍手が沸き起こりました。



消防署員による見事な演技

## ぼうさい甲子園で 入谷中学校が大賞を受賞



1月11日(日)、神戸市の兵庫県公館で「ぼうさい甲子園表彰式・発表会」が行われ、入谷中学校の取り組みが、中学生の部の最高賞である「ぼうさい大賞」を受賞しました。ぼうさい甲子園は、学校や地域で防災教育に取り組む人々を表彰するもので、入谷中学校は「自助から共助」～僕たち、私たちにできること～をテーマに、地域住民と一体となった避難訓練や木造住宅の簡易耐震診断実施などの取り組みを発表したものです。1月21日(水)、発表会に出席した入谷中学校3年生の佐藤宏樹くん、山内夏帆さん、菅原有香さん、佐藤秀志くんが町長室を訪れて、町長へ受賞の報告をしました。山内夏帆さんは、「阪神・淡路大震災の凄まじい映像を見て、大切な人を目の前で失うことの悲しさを目の当たりにしました。私たちも引き続き防災への取り組みを頑張るので、大人の人たちにバックアップしてほしいと思います。」と、話しました。



歌津地区での伊里前商店街パレード

## 楽しい人形劇

1月18日(日)、スポーツ交流村文化交流ホールで「親子芸術文化鑑賞会」が開催され、人形劇団ポポロによる人形劇「三びきのやぎのガラガラドン」が公演されました。公演は二部構成で行われ、第一部では、人形と会場のみんなで元気に歌を歌いました。第二部は、3匹の兄弟やぎのガラガラドンが力と知恵を合わせて、大きなおばけのトロールをやっつける人形劇を楽しみました。人形劇終了後には、公演した舞台裏も公開され、会場に集まった約180人の親子は、活躍した人形たちと一緒に写真を撮ったり握手をして、人形劇の魅力をも十分に楽しんだようです。



人形たちと一緒に「はいチーズ!」



はしご乗りの乗り手による「もちまき」も行われました



荒島をバックに一斉放水